

教育研究上の目的

全学

本学は教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、山陽女学園の伝統の精神に基づいて大学教育を行い、教養と専門性を兼ね備え、地域に貢献する女性の育成を教育理念とする。

このことを具現化するために、以下の4点を全学的教育目的とする。

- (1) 教養教育及び健康・医療を核とした専門基礎教育の徹底
- (2) 実践に即した豊富な実習を中心とした教育
- (3) 資格を活かして、地域に貢献できる人材の養成
- (4) 地域における生涯学習の拠点化と地域連携の推進

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

本学では、卒業に必要な単位を修得し、次に掲げる「学習の到達目標」に達した学生に短期大学士の学位を授与している。

1. 知識と理解

- (1) 国や地域の文化を理解し、人間について、かつ社会及び環境と自然について知識と理解を有している。
- (2) 職業人として必要な専門知識と理解を有している。

2. 技能

- (1) 社会人としてコミュニケーション能力や表現力を身につけ、情報通信技術に関する基本的な知識技能を持ち、モラルに従い活用できる。
- (2) 職業人として必要な専門的な技能と基礎的な技術を有している。

3. 態度と志向性

- (1) 自己を律し、マナーを守り、責任感を持って周りの人と協働することができる。
- (2) 積極的に学ぶ姿勢を持ち、卒業後は、職業人として地域に貢献するという姿勢を有している。

4. 統合的な学習経験と創造的思考力

- (1) これまで獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、創造的に考え、課題の解決のために協働できる。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

本学では、学生が学習成果を挙げるために、教育目的に基づき、次に掲げる項目を重視して、体系的な教育課程の編成・実施に当たっている。

1. 社会人となるための教養教育及び情報教育の充実
2. 高度な専門知識・技能を修得するための専門教育と専門基礎教育の徹底
3. 実践に即した学内・学外での豊富な実習を中心とした教育
4. 知識・技能を総合的に活用し、協調性を持って課題の解決できるような能動的教育の重視

アドミッション・ポリシー(入学者に関する受け入れ方針)

本学では、入学後の修学に必要な基礎能力を有し、目的意識と向上心を有する人で、次に掲げる「本学が求める学生像」を理解し賛同する人に入学を認めている。

1. 将来の自分に必要な専門知識・技能を身につけたい意欲を持っている人
2. 相手の立場を尊重し、人と協調する心を持っている人
3. 自ら学び、課題を発見し解決する意欲を持っている人